

～ 第8回 XMLコンソーシアムWeek ～

Webサービス実証部会

気象庁防災情報XMLを使った実証実験β版に向けての途中経過報告

## 概要と現状

2009年5月12日

アドソル日進株式会社

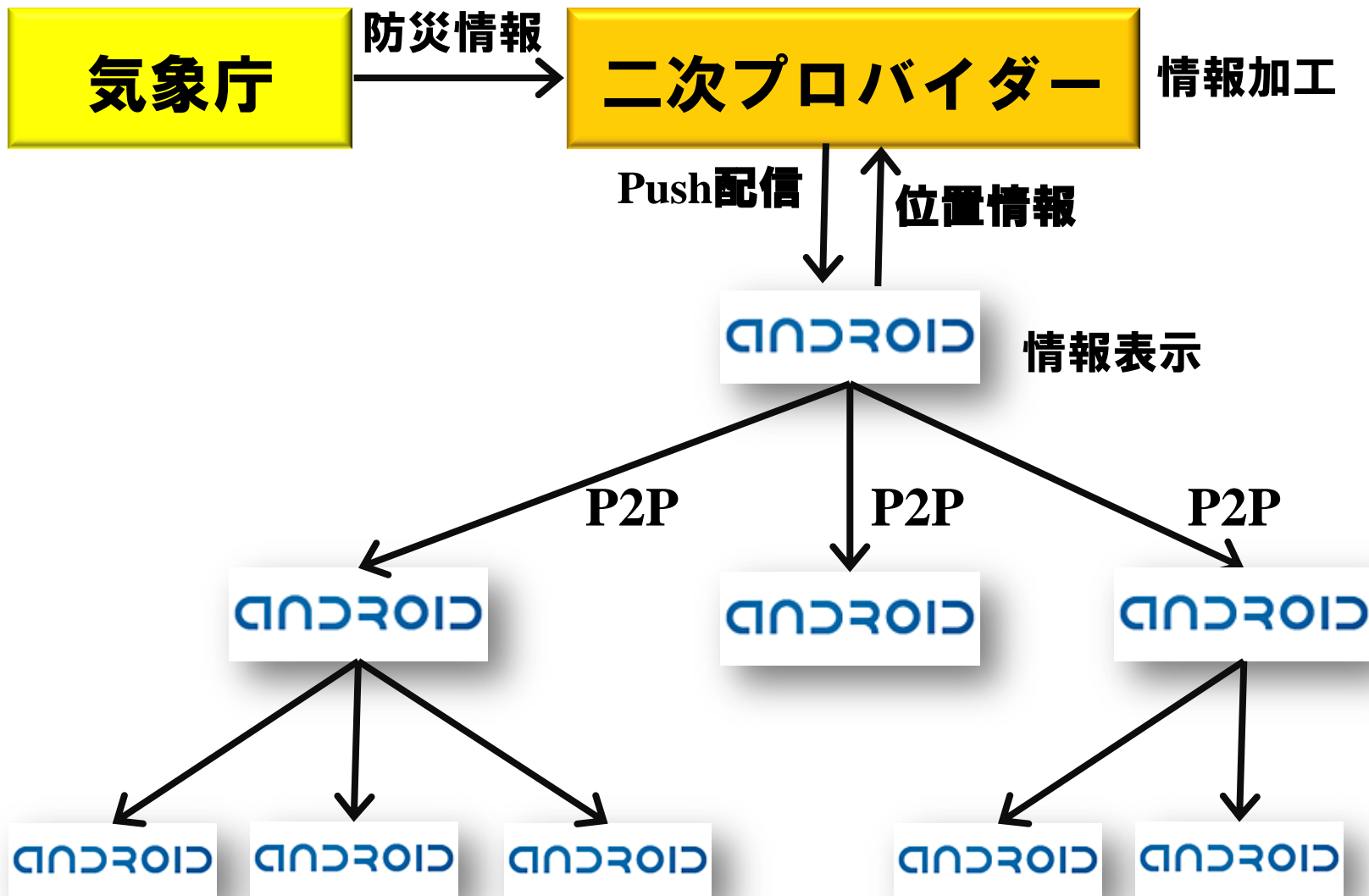
荒本道隆

- 経緯
- 概要と目的
- デモのシステム構成(全体とWeek版)
- 各パートの説明

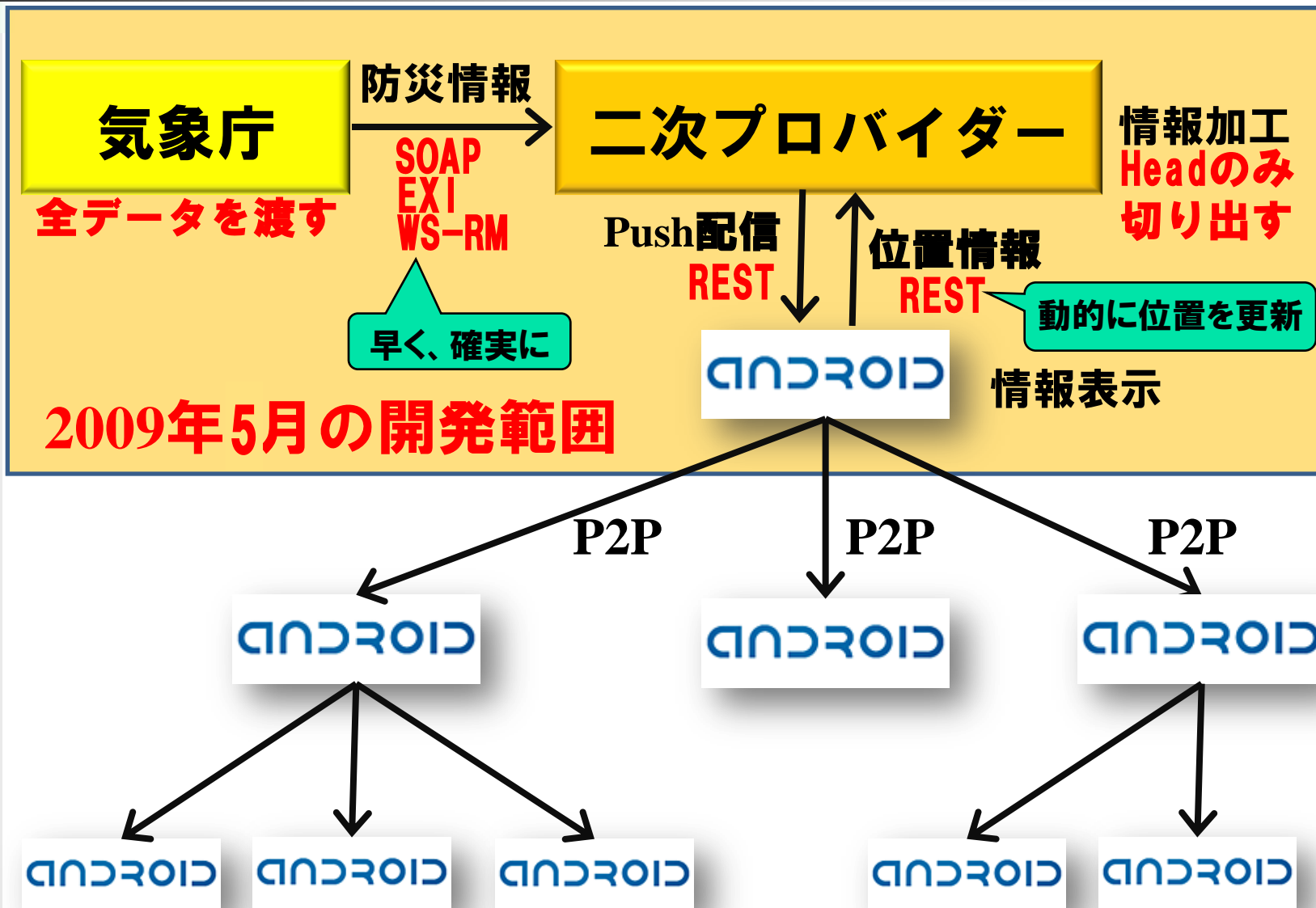
- 2008年02月
  - 気象庁とXMLコンソーシアムで、気象情報をXML形式で提供するための仕様策定作業を開始
- 2008年05月
  - 気象庁:ドラフト版を一般公開し、意見募集を開始(第1回目)
- 2008年11月
  - XMLコンソーシアム内企業で動作を検証
- 2009年01月
  - そのXMLスキーマを使った実証実験の $\alpha$ 版をDayにて公開
- 2009年01月
  - 気象庁: Ver0.9を一般公開し、意見募集を行う(第2回目)
- 2009年04月
  - Ver1.0予定版で、XMLコンソーシアム内企業で動作を検証

- **策定したXMLスキーマを使用**
  - XMLスキーマを実際にWebサービス等に試用
  - どのくらい開発が省力化できるか？を評価
- **個人に気象や災害情報を配信**
  - 個人に配信した場合のモデルを検討
    - 特に災害情報を個人に配信すると、何ができるようになるのか？
    - 気象庁→二次プロバイダ→各個人へ配信
- **モバイル端末の利用**
  - 限られたリソースでのXMLの利用
  - ポーリングによるPUSHモドキではなく、真のPUSH
  - 災害によりInternetが使用不能になった場合を想定
- **関連技術の評価**
  - モデルケース中で適用できそうな技術の評価
    - WS-RM, Cloud, P2P, XMLDB など

# デモのシステム構成(全体)



# デモのシステム構成(Week版)



A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at a point. To the left of the intersection, there are two overlapping squares: a purple one on top and a green one on the bottom, both with a gradient effect.

**各パートの詳細説明に続きます**